

# グループ研究テーマ

「日本の貧困」についての研究（仮）

グループ名：もったいない（仮）

## 《メンバー》

SGS 14期

上田 尚男 波々伯部 之夫

大内 義郎 長濱 速雄

藤原 俊雄 前川 宏睦

山崎 修一郎 和佐 信行

SGS 15期

石井 由起子 今中 英雄

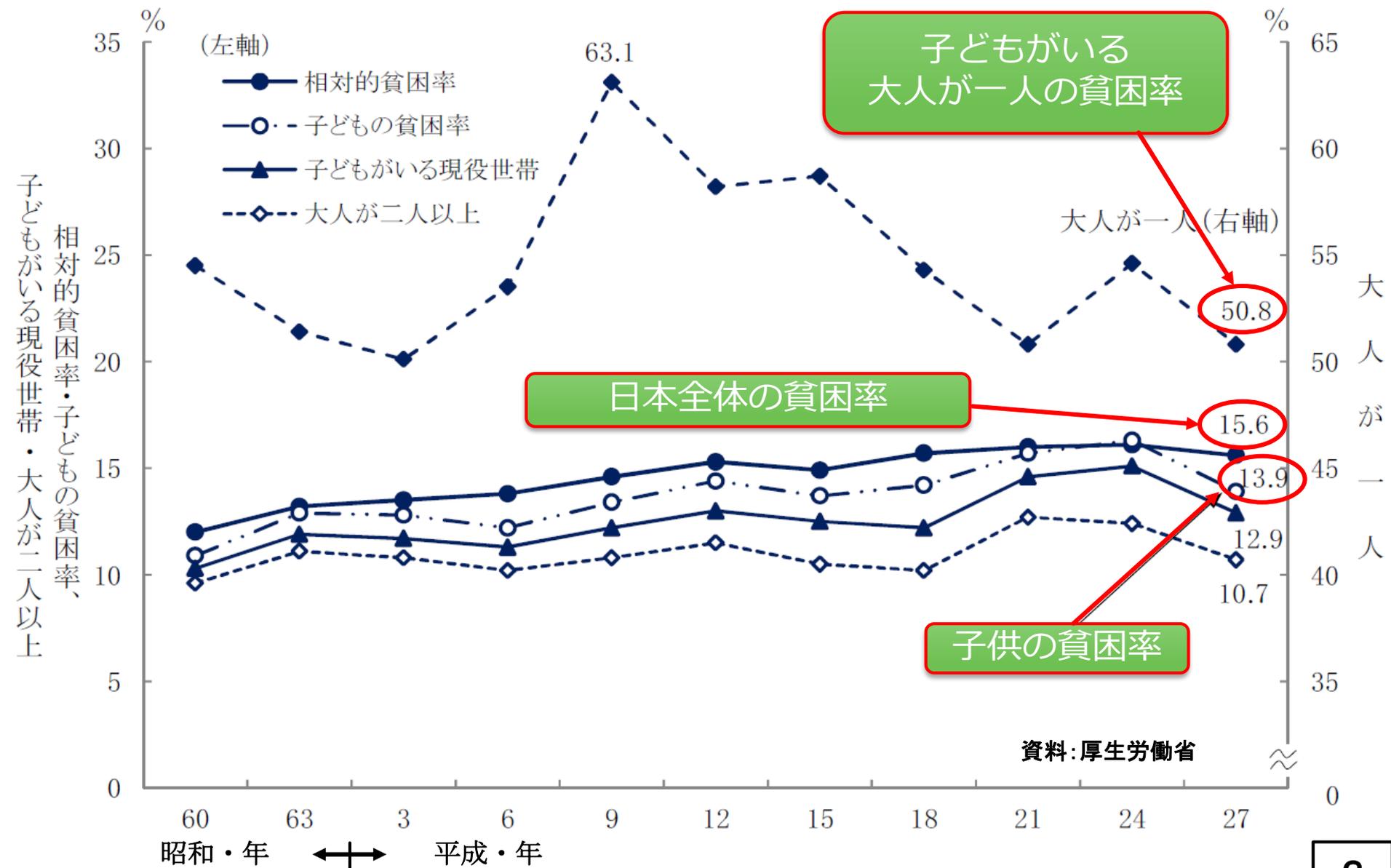
島村 千恵子 南部 ユリ子

2019年5月22日

# 絶対的・相対的「貧困」と「貧困率」について

- ▶ 「絶対的貧困」：生命を維持するために最低限必要な衣食住が満ち足りていない状態のことを指す。
  - ▶ 「絶対的貧困率」：必要最低限の生活水準を維持する為の食糧・生活必需品等を購入できる所得・消費水準に達していない絶対貧困者が、その国や地域の全人口に占める割合。
- 
- ▶ 「相対的貧困」：人がその社会の中で生活するために、通常得られるものが得られない、出来ることができない、状況のことを指す。
  - ▶ 「相対的貧困率」：世帯収入から税金・社会保険料等を除いた手取り収入「等価可処分所得」を低い方から並べた時、ちょうど真ん中にあたる人を基準とし、所得がその半分に満たない人の割合。
    - ・単純な購買力よりも、国内の所得格差に注目する指標。

# 「相対的貧困率」の年次推移

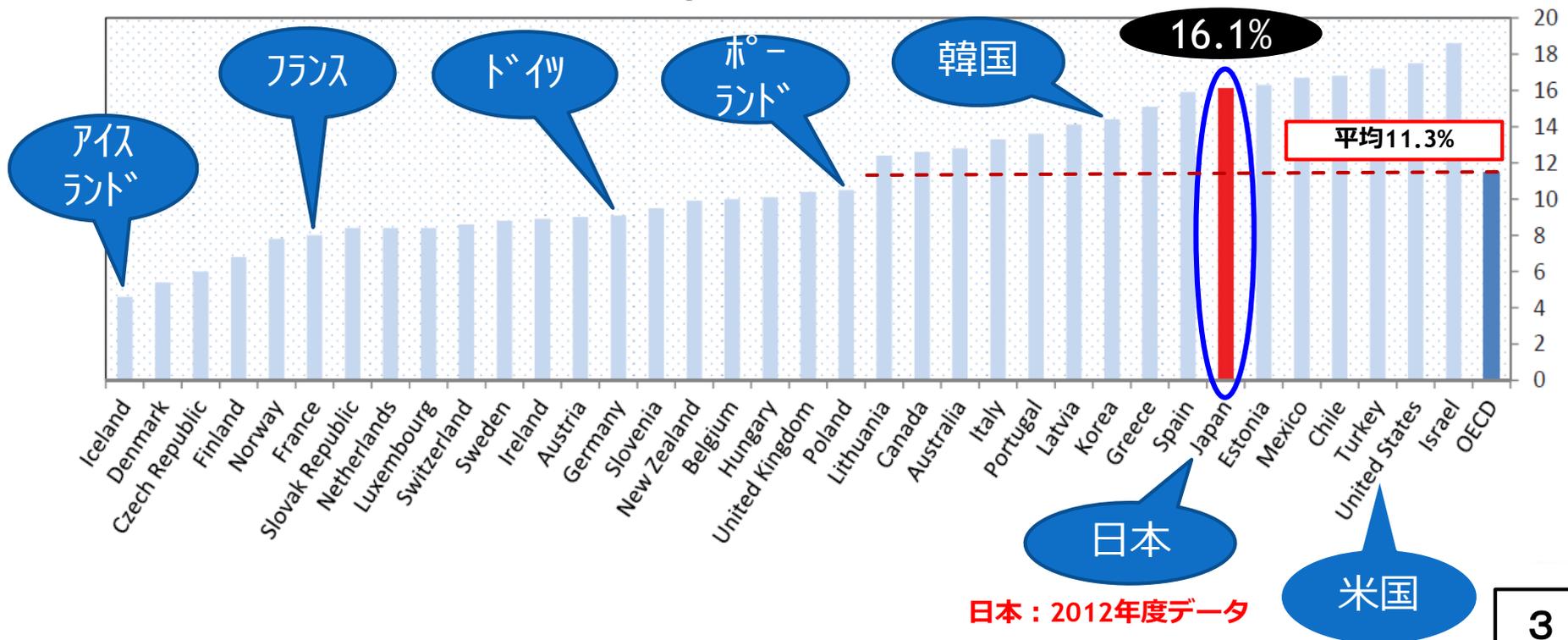


# 「相対的貧困率」 主要国の比較

- ◆日本の「相対的貧困率」 ➡ 15.6%
- ◆子供（17歳以下）の貧困率 ➡ 13.9%  
～子供7人に一人が貧困状態～
- ◆一人親・子供世帯の貧困率 ➡ 50.8% 【先進国中最悪！】

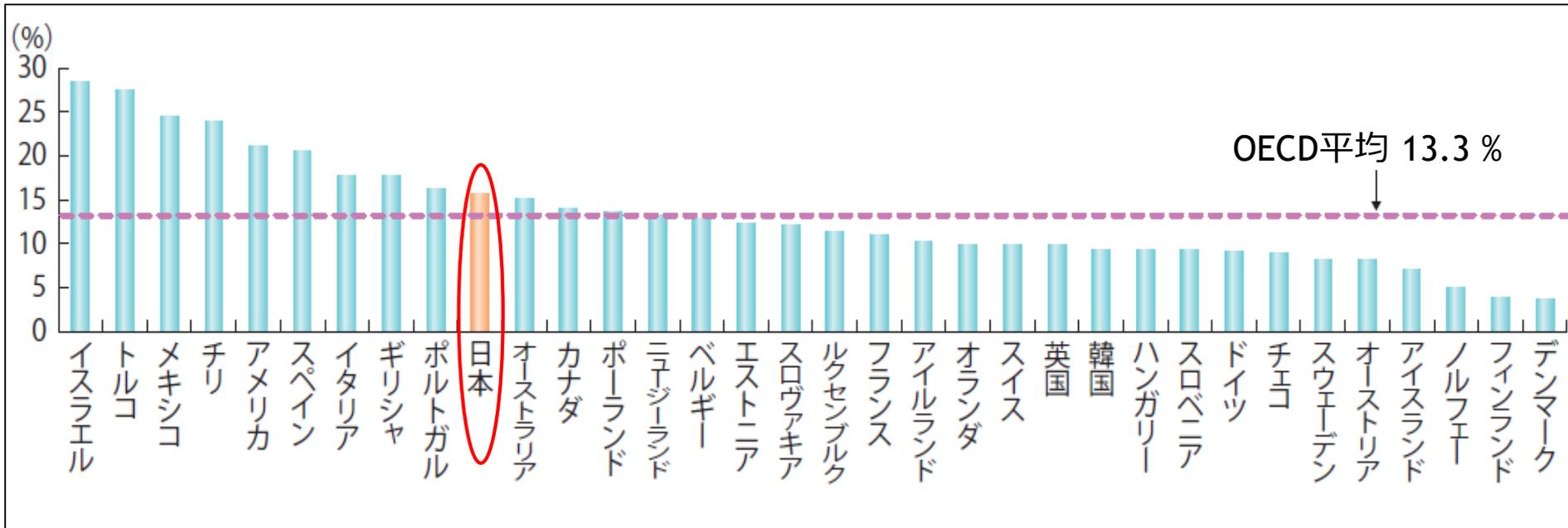
農水省2015年度（平成27年度）

Poverty rate, 2014\* (%)



# 「子どもの貧困率」の国際比較

子どもの貧困率 2009年度



(出典) OECD (2014) Family database“Child poverty”

# 「子どもの貧困」を考える (No1)

## 1. 子どもの貧困の現状

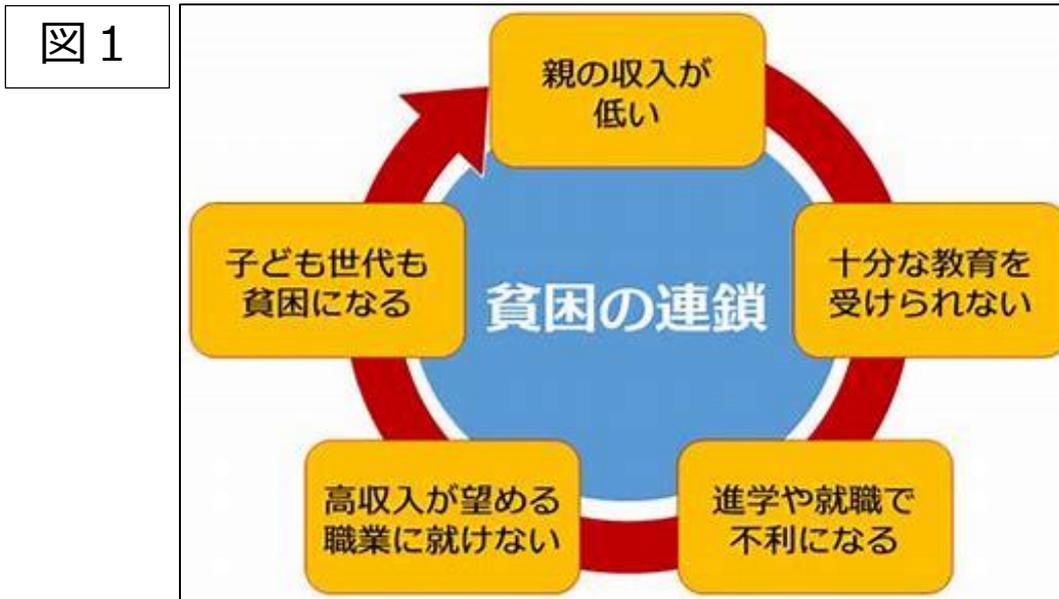
- 1) 子どもがいる親一人の貧困率はOECD加盟国34カ國中ワースト1位
  - ・ひとり親世帯の9割近くが母子世帯。子ども7人に一人が貧困。
- 2) 食事・学習・進学・医療などで極めて不利な状況に置かれてしまう
  - ・子どもの貧困は見え辛い（塾に行けない、ご飯が食べられない、部活動に入れない、修学旅行に行けない等⇒友達と話が合わなくなり⇒疎外される⇒不登校になる等）
  - ・将来も貧困から抜け出せない（貧困の連鎖化）
- 3) 貧困家庭における児童のネグレクト
  - ・育児放棄、育児怠慢、虐待等が増加する傾向にあり、学力の低下、授業に集中できない、すぐに切れるなどストレスを抱えこみやすい。

# 「子どもの貧困」を考える (No2)

## 2. 子どもの貧困の主な原因等

- 1) 両親の離婚等が原因で一人親世帯となる・・・貧困の連鎖 (図1)
  - ・ 親の収入が低い⇒十分な教育が受けられない⇒進学・就職で不利⇒高収入の職業に就けない⇒その子ども世代も貧困から抜け出せない。
- 2) 親の低収入 (相対的貧困・年収122万円以下)・・・ワーキングプア
  - ・ 非正規雇用など経済的格差により貧困層になってしまう。
- 3) 子どもの貧困に対する社会支援が不十分・・・子供の貧困対策法

(平成26年度施行)



～ご静聴ありがとうございました～